

外務大臣

茂木 敏充様

三菱重工業株式会社

取締役社長 泉澤 清次様

2020年4月23日

名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会

一日も早い解決を心から願っています

1. 私は、前山と申します。20年以上「名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会」のスタッフとして、活動しています。最初に「勤労挺身隊」の事を知った時は、大変「ショック」を受けました。
2. それは、戦時中とはいえ、「天下」の三菱重工が、賃金を払わずに少女たちを働かせていたことです。しかも、最初から賃金を払う予定がなかったことに、二重のショックを受けました。
3. も、皆様の家族が同じような目に合ったら、皆様はどう思われるでしょうか。
あなたの母親、娘、孫が、「日本に行けば、働きながら女学校に通うことができる」と騙されて連れて行かれ、過酷な労働のあげく、賃金ももらえない。戦争が終わり、やっと祖国へ戻ったら、「挺身隊」と「慰安婦」が混同され、一生肩身の狭い思いをしなければなりませんでした。
つまり、日本のために、人生を台無しにされたのです。
こんな理不尽なことが、この日本で行われたのです。
私は、日本人の一人として、本当に情けなく、恥ずかしい思いが一杯で、せめて彼女達の支援になればと思い、20年間頑張ってきました。
4. かつての少女たちも、91歳のおばあさんになりました。すでに亡くなったおばあさんも多数います。
亡くなられた皆さんは、どんな思いで旅立ったことでしょう。
私が、生前に彼女達と話した時、異口同音に「生きている間に、謝罪の言葉を聞きたい」と、どのおばあさんも、言っておりました。
すでに済んだことは、永久に戻りません。今、できることは「一日も早い謝罪と賠償」です。
せめて、彼女達に報いるために、お願いできないでしょうか。
5. 韓国は、いうまでもなく我が国に最も近い国であり、最も大切な国です。
私達は、韓国と毎年「青少年交流」を続けており、日本と韓国の高校生が、交互に行き来して交流を深めています。将来を担う「若い人達」のためにも、「この問題」を早く解決する必要があります。
6. 三菱重工においても、若い優秀な社員が、「過去の問題」にいつまでも囚われることなく正々堂々と飛躍するために、早期解決が不可欠です。

泉澤社長の勇気あるご決断を心よりお願い申し上げます。

以上